



栗原小だより

～学校教育目標～
よく考え学ぶ子
心のゆたかな子
たくましい子

新座市栗原 1-5-1 ☎042-473-7070

HP <http://www.c-niiza.ed.jp/e-kurihara/>



令和4年度10月号

令和4年10月3日

多様な学びの実現に向けて

校長 大井 敏彰

【オンライン授業アンケートから】

9月21日、全校でオンライン授業を実施しました。保護者の皆様には、本取組へのご理解とご支援をありがとうございました。午後1～2時間ではありましたが、大きなトラブルなく終わることができました。また、アンケートにもたくさんご回答いただきました。その一部をご紹介します。

回答件数113件（家庭数の約35%）

◆保護者の考えに近いもの

- ・よい取組で来年も継続・・・54.4%
- ・今年に限りよい取組・・・11.4%
- ・よい取組か判断できない・・・22.8%
- ・今年限りにしてほしい・・・9.6%
- ・その他・・・1.8%

◆記述回答（記述回答61件から抜粋）

賛成

- 軽度の体調不良で休んだときや家庭の事情で休んだときにオンライン授業の選択肢があることはありがたい。
- みんなの顔を見ながら授業に取り組めるのは精神的に安心感が增える。
- オンラインが必要になったときのために訓練的な意味合いとしてはよい。
- 保護者が校内に入れないので授業風景が見られることはありがたい。

反対

- 周りの目がない状態で集中することが難しい状況だった。
- 視力の低下が心配です。
- 重量があるため、特に低学年は重さに抵抗を感じている。
- 学校で授業をすること自体に意味があり、画面をとおすとコミュニケーションがとりにくいと懸念もある。

その他の意見

- ・フィルタリング機能を入れてほしい。
- ・オンラインは学期に1回程度でよい。
- ・家庭に負担がなかったか心配です。
- ・教科書のデータ化を進めてほしい。

*この他にも貴重なご意見を多数いただいております。今後の参考にさせていただきます。誠にありがとうございました。

未だ収束しないコロナ禍において、一人一台端末によるオンライン授業は、子供たちの学びを保障するマストアイテムです。そのため、いつオンライン授業になってもいいよう、子供たちも教員も一定水準のスキルを身に付ける必要があります。ですが、ログインして授業を視聴するだけでは、学びが深まりません。子供たちも教員も端末を使いこなし、豊かな学びが実現できるよう、今年度は毎月1回の実施を位置づけ、多様な学びの実現を目指しています。

【オンラインによる多様な学び】

【できて嬉しい1年生！】

1年生は2学期に一人一台配備され、初めて自分の端末でオンライン授業を実施しました。みんなオンライン授業そのものが楽しかったらしく、感想を聞くと口を揃えて「楽しかった！」と言ってくれました。

【オンラインで学年合唱！】

5年生の音楽は2学級一斉に行いました。導入では小川教諭のピアノの伴奏に合わせて歌を歌いました。一人一人が自宅でもマスクを外して歌う様子を画面越しに眺めながら、一途に歌う姿に少し感動してしまいました。

【「ロイロノート」とは？】

教員が配信した課題に対して、直感的に表現したり、お互いの考えを閲覧できたりする思考ツールのアプリです。主に3年生以上が活用しています。高学年の書写では練習作品の提出や添削をロイロノートで行っています。是非お子さんに見せてもらってください。

最後に、「オンライン授業の充実＝対面授業の削減」ではありません。普段の授業や学校行事も日々充実させながら、子供たちの豊かな学びの実現に努めてまいります。

【行ってきました！修学旅行！】

9月6日、7日に6年生が修学旅行に行ってきました。昨年、林間学校に行けなかった6年生ですが、初めての宿泊行事とは思えないほどメリハリをつけて行動できました。卒業まで残り半年ですが、最高学年として、更なる活躍を期待しています。

【R4.9.6 奥日光戦場ヶ原にて撮影】

